

ルツ記

ナオミ＝イスラエル

オルバ＝この世の教会 =首の後ろの意味、背を向けて離れる

ルツ＝若い教会

ボアズ＝あがない主 =彼の内には力がある、ボ=in him アズ
=power

1:1 さばきつかさが治めていたころ、この地に飢饉が起こった。そのため、ユダの**ベツレヘム**出身のある人が妻と二人の息子を連れてモアブの野へ行き、そこに滞在することにした。

ベツレヘム」＝パンの家の意味

1:2 その人の名はエリメレク、妻の名はナオミ、二人の息子の名はマフロンとキルヨンで、ユダのベツレヘム出身のエフラテ人であった。彼らはモアブの野へ行き、そこにとどまった。

エリメレク＝私の神は王

ナオミ＝私の喜び

マフロン＝病気

キルヨン＝終わる ◀ 3630. Kilyon (כִּלְיוֹן) ▶

語源は◀ 3615. kalah (כָּלָה) 204回▶完成する、終わる

ルツ＝友情(BB)

オルパ＝ガゼル(BB) 語源学からして「背中を向ける」

◀ 6204. Orpah (הַרְפָּזָה) 2 回 ▶

語源は ▶ 6203. oreph (הַרְפָּזָה) 33 回 ▶ (N)首の後ろ、首(背中を向ける)、
頑固

ボアズ=儂さ (BB) 素早さ

◀ 1162. Boaz (בּוֹאֵז) 24 回 ▶

1:7 彼女は二人の嫁と一緒に、今まで住んでいた場所を出て、ユダの地に戻るため帰途についた。

@ 二人の嫁と一緒に=始めは一緒に歩んでいた

1:14 彼女たちはまた声をあげて泣いた。オルパは姑に別れの口づけをしたが、ルツは彼女にすがりついた。

すがりつく = ▶ 1692.(דָּבַק) dabaq 54 回 ▶ to cling, cleave, keep close=現代語では接着剤などを表す言葉

妻と結ばれるの「結ぶ」と同じ単語

創世記 2:24 それゆえ、男は父と母を離れ、その妻と**結ばれ**、ふたりは一体となるのである。

心が結びつくの「結ぶ」と同じ単語

創世記 34:3 (改 4) 彼はヤコブの娘ディナに心を**奪われ**、この若い娘を愛し、彼女に優しく語りかけた。

すがりついた

(マタ 15 : 21) カナンの女

(2列2 :)、3度ついて行くといった

1:15 ナオミは言った。「ご覧なさい。あなたの弟嫁は、**自分の民**と**その神々**のところに帰って行きました。あなたも弟嫁の後について帰りなさい。」

@ 困難な時に主を捨てて古い自分と宗教に戻る

1:16 ルツは言った。「お母様を捨て、別れて帰るように、**仕向けないで**ください。お母様が行かれるところに私も行き、住まれるところに私も住みます。あなたの民は私の民、あなたの神は**私の神**です。

仕向ける = ◀ 6293.(פגא) paga 46 回 ▶ 打つ、攻撃する、達する、交渉する、仕向ける、とりなす (現)ヒット

頼む(Ge23:8)。着く (Ge28:11)。現れる(Ge32:1)。打つ(出 5:3) (1列 2:34)。会う(出 5:20)(イザヤ 64:5)。(アモス 5:19)。出会う(Ex23:4)。達する(ヨシュア 16:7、17:10、19:11)。

打ちかかる(士師 8:21、15:12)。仕向ける(ルツ 1:16)。いじめる(ルツ 2:22)。

殺す(1サム 22:17)。打ちかかる(1サム 22:18)(2サム 1:15)。討ち取る(1列 2:25、2:29、2:31、2:46)。

祈り願う(ヨブ 21:15)。撃つ(ヨブ 36:32)。容赦する(イザヤ 47:3)。負わせる(イザヤ 53:6)。

とりなす(イザヤ 53:12)。(エレミヤ 7:16、15:11、27:18)。懇願する(エレミヤ 36:25)。

私の神

1:17 あなたが死なれるところで私も死に、そこに葬られます。もし、**死によっても**、私があなたから離れるようなことがあったら、【主】が幾重にも私を罰してくださるように。」

(共) 1:17 あなたの亡くなる所でわたしも死に／そこに葬られたいのです。死んでお別れするのならともかく、そのほかのことであなたを離れるようなことをしたなら、主よ、どうかわたしを幾重にも罰してください。」

(共 2) あなたが死なれる所で私は死に／そこに葬られたいのです。／死に別れでなく、私がある人と別れるならば／主が幾重にも私を罰して下さいますように。」

(KJV)Where thou diest, will I die, and there will I be buried: the LORD do so to me, and more also, if ought but death part thee and me.

(へ)あなたが死ぬところで私も死に、そこで私も葬られます。主が私にそうして下さいます。

もし、死が私たちを分かつのでなければ、それ以上にしてくださいませ。

もし～ならば、それ以上にしてくださいませ。

=慣用句「幾重にも罰させられるように」(1サム 3:17)0

◀ 3541. koh (כֹּחַ) 576 回 ▶

◀ 3254. Yasaph(יָסַף) 211 回 ▶ 加える、再び

◀ 3588. ki (כִּי) 4481 回 ▶ ◀ 518. Im (עַם) 1070 回 ▶ もし

。死によってでも = (正しくは)「死によること以外で」、=結婚の誓約

イスラエルは 生まれゆえに 神との契約に入る

異邦人は結婚(キリストとの関係)ゆえに 神との契約に入る

(イザヤ 65 : 16) この世にあって誓う者は、まことの神によって誓う。

1:19 二人は旅をして、ベツレヘムに着いた。彼女たちがベツレヘムに着くと、町中が二人のことで騒ぎ出し、女たちは「まあ、ナオミではありませんか」と

言った。

流浪の末に祖国に帰ったイスラエルの型

1:20 ナオミは彼女たちに言った。「私をナオミと呼ばないで、**マラ**と呼んでください。**全能者**が私を大きな苦しみにあわせたのですから。

ナオミ = ◀ 5281. Noomi ▶ 人名

語源は ◀ 5276. naem (נָעַם) 8回 ▶ (V) 快い、喜びあふれる、愛らしい

マラ = ◀ 4755. Mara(מָרָא) 1回 ▶ ナオミの象徴的な名、(意味は苦い)

苦いというヘブライ語は ◀ 4846.(מְרָרָה)

merorah 4回 ▶

申 32:32 まことに彼らのぶどうの木は、ソドムのぶどうの木から、ゴモラのぶどう畑からのもの。彼らのぶどうは毒ぶどう。その房は **苦い**。 ◀ 4846.(מְרָרָה) merorah 4回 ▶

1:21 私は出て行くときは満ち足りていましたが、【主】は私を素手で帰されました。どうして私をナオミと呼ぶのですか。【主】が私を卑しくし、**全能者**が私を辛い目にあわせられたというのに。」

@全能者 = (へ) シャダイ (全能なる神)

@奪うことができる」ということは「与える」事ができる全能者なる神へのまったき信仰

ヨブ 1:21 そして言った。「私は裸で母の胎から出て来た。

また裸でかしこに帰ろう。【主】は与え、【主】は取られる。
【主】の御名はほむべきかな。」

1:22 こうして、ナオミは帰って来た。モアブの野から戻った嫁、モアブの女
ルツと一緒にあった。ベツレヘムに着いたのは、大麦の刈り入れが始まったこ
ろであった。

大麦の刈り入れが始まったころ=終末のリバイバル。

2:1 さて、ナオミには、夫エリメレクの一族に属する一人の有力な親戚が
いた。その人の名はボアズであった。

一族 = ◀ 3045. Yada(יָדָה) 942 回 ▶ 知る
(KJV) kinsman (NAS)(NAS)relative

親戚 = ◀ 4940. mishpachah (משפחה) ミシュパハ ▶ (全ての英訳) 家族、(共)
氏族、民族(改 2)

部族と訳されているのは 300 回中 2 回(Gen 12:3、28:14)、親戚は 1
回(ルツ 2:1)、家族は 293 回

現代語でも ミシュパハ(משפחה)は家族を意味する単語

ボアズ = ◀ 1162. Boaz (בּוֹאֵז) 24 回 ▶ (N) 人名、柱の名前 (素早さを意味する)
~~—(へ) 彼の内に力がある—~~ ~~ボ=in him~~ ~~—アズ=power~~

2:3 ルツは出かけて行って、刈り入れをする人たちの後について畑で落ち穂を
拾い集めた。それは、はからずもエリメレクの一族に属するボアズの畑であ
った。

申 24:19 あなたが畑で穀物の刈り入れをして、束の一つを畑に置き

忘れたときは、それを取りに戻ってはならない。それは寄留者や孤児、やもめのものとしなければならない。あなたの神、【主】があなたのすべての手のわざを祝福してくださるためである。

2:4 ちょうどそのとき、ボアズがベツレヘムからやって来て、刈る人たちに言った。「【主】があなたがたとともにおられますように。」彼らは、「【主】があなたを祝福されますように」と答えた。

祝福する＝バラク・ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)

2:7 彼女は『刈る人たちの後について、束のところで落ち穂を拾い集めさせてください』と言いました。ここに来て、朝から今までほとんど家で休みもせず、ずっと立ち働いています。

@ 言い＝落ち穂を拾いは当然の権利なので言う必要は無かったが言った＝謙虚

@ 勤勉ゆえに人々の目にとまった

~~2:5 ナオミ(イスラエル)に対するルツ(教会)の心を見てボアズ(キリスト)は心が動いた。~~

2:8 ボアズはルツに言った。「娘さん、よく聞きなさい。ほかの畑に落ち穂を拾いに行つてはいけません。ここから移つてもいけません。私のところの若い女たちのそばを離れず、ここにいなさい。

2:9 刈り取っている畑を見つけたら、彼女たちの後について行きなさい。私は若い者たちに、あなたの邪魔をしてはならない、と命じておきました。喉が渴いたら、水がめのところに行って、若い者たちが汲んだ水を飲みなさい。」

@落穂拾いでなく収穫への招き（？）

@「きつく命じておきました」、ルツに話す前にすでに伝えてあった
主がなされる時には全て整えられてある

@ (NKJV) Have I not commanded the young men not to touch you?

@ (TEV) I have ordered my men not to molest you.

@ただし聖書共同訳、新共同訳では、未来形なので上の解釈は成り立たない。

(共 2) 刈り入れをしている畑に目を留めて、彼女たちの後に付いて
行きなさい。私は僕たちに、あなたの邪魔をしないように命じておき
ます。喉が渴いたら水がめのところに行って、僕たちが汲む水を飲
みなさい。」

(共) 2:9 刈り入れをする畑を確かめておいて、女たちについて行き
なさい。若い者には邪魔をしないように命じておこう。

2:10 彼女は顔を伏せ、地面にひれ伏して彼に言った。「どうして私に親切に
し、気遣ってくださるのですか。私はよそ者ですのに。」

伏せ=◀ 5307. naphal ▶ 落とす、横たえる、伏せる
原語では「彼女は顔を落とし、地面にひれ伏して」

ひれ伏して=シャハー◀ 7812. shachah (שחח) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝す
る、礼をする

(NAS)(KJV)(INT) *bow (改 4)*ひれ伏して

ルツ 2:17 こうして、ルツは夕方まで畑で落ち穂を拾い集めた。集めたものを
打つと、大麦一エパほどであった。

エパ= 23 リットル=力があった

落穂=御言葉

2:18 彼女はそれを背負って町に行き、集めたものを姑に見せた。また、先に十分に食べたうえで残しておいたものを取り出して、姑に渡した。

集めたものを姑に見せた=ユダヤ人に御言葉を携える異邦人の型

2:19 姑は彼女に言った。「今日、どこで落ち穂を拾い集めたのですか。どこで働いたのですか。あなたに目を留めてくださった方に祝福がありますように。」彼女は姑に、だれのところで働いてきたかを告げた。「今日、私はボアズという名の人のところで働きました。」

彼女=◀ 3618. kallah (קָלָה) 34 回▶義理の娘、嫁

祝福する=バラク◀ 1288. (בָּרַךְ)barak 330 回▶祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

2:20 ナオミは嫁に言った。「生きている者にも、死んだ者にも、御恵みを惜しまない【主】が、その方を祝福されますように。」ナオミは、また言った。「その方は私たちの近親の者で、しかも、買い戻しの権利のある親類の一人です。」

嫁=◀ 3618. kallah (קָלָה) 34 回▶義理の娘、嫁

近親の者=◀ 7138. Qarob (קָרוֹב) 77 回▶(A)近い

買い戻しの権利のある親類=◀ 1350. gaal (גָּאַל) 105 回▶(V)あがなう、買い戻しの権利のあるものとしての行動をする

「買戻しをする人の条件

- (1) 血縁がある (ヘブ 2 : 14)
- (2) 代価を支払う (1 ペテ 1 : 19)
- (3) 本人の自由意思による (喜んでする) (ルツ 4 : 6) (ヨハネ 10 : 18)

(ア) (ヨハネ 10:18 だれも、わたしからいのちを取りません。わたしが自分からいのちを捨てるのです。わたしには、それを捨てる権威があり、再び得る権威があります。わたしはこの命令を、わたしの父から受けたのです。)

- (4) 自由人である事 (1 ヨハ 3 : 5)

2 : 21 私の**若者達**のそばを」 ボアズのアドバイス @この解釈は男性であることが前提であるが確かか？

若い女たちと一緒に、、」 ナオミのアドバイス

2 : 23 それで、、「若い女たちのそばを離れないで」 ルツのとった態度

しゅうとめにしたがって男を追わなかった

その結果 (3 : 10) 若い男のあとを追わなかったからです。

2:21 モアブの女ルツは言った。「その方はまた、『私のところの刈り入れが全部終わるまで、うちの**若い者たち**のそばについていなさい』と言われました。」

若い者 = ◀ 5288. naar ▶ 少年、若者

ボアズのアドバイス = 男性と共になさい

ナオミのアドバイス = 若い女たちと一緒に・・ (ルツ 2:22)

2:22 ナオミは嫁のルツに言った。「娘よ、それは良かった。あの方のところの

若い女たちと一緒に畑に出られるのですから。ほかの畑でいじめられなくて
すみませう。」

しかし、ルツのとった態度＝若い女たちのそばを離れなかった
しゅうとめにしたがって男を追わなかった

その結果ボアズに称賛された。(3 : 10) 若い男のあとを追わな
かったからです。

いじめる＝◀ 6293.(פגע) paga 46 回▶ 打つ、攻撃する、達する、交渉する、
仕向ける、とりなす (現)ヒット

頼む(Ge23:8)。着く (Ge28:11)。現れる(Ge32:1)。打つ(出 5:3) (1列 2:34)。
会う(出 5:20)(イザヤ 64:5)。(アモス 5:19)。出会う(Ex23:4)。達する(ヨ
シュア 16:7、17:10、19:11)。

打ちかかる(士師 8:21、15:12)。仕向ける(ルツ 1:16)。いじめる(ルツ
2:22)。

殺す(1サム 22:17)。打ちかかる(1サム 22:18)(2サム 1:15)。討ち取る
(1列 2:25、2:29、2:31、2:46)。

祈り願う(ヨブ 21:15)。撃つ(ヨブ 36:32)。容赦する(イザヤ 47:3)。負
わせる(イザヤ 53:6)。

とりなす(イザヤ 53:12)。(エレミヤ 7:16、15:11、27:18)。懇願する(エ
レミヤ 36:25)。

ルツ 3:3 あなたはからだを洗って油を塗り、晴れ着をまとめて打ち場に下っ
て行きなさい。けれども、あの方が食べたり飲んだりし終わるまでは、気づか
れないようにしなさい。

洗って＝◀ 7364. Rachats (רָחַץ) 72 回▶ あらう

3 : 3 からだをあらって=清め 油を塗り=聖霊 晴れ着=喪に服していない

いかに老いつかれていても長い歴史を持つユダヤ人は教会にアドバイスできる

ローマ 3:1 それでは、ユダヤ人のすぐれている点は何ですか。割礼に何の益があるのですか。

3:2 あらゆる点から見て、それは大いにあります。第一に、彼らは神のことばを委ねられました。

ルツ 3:10 ボアズは言った。「娘さん、【主】があなたを祝福されるように。あなたが示した、今回の誠実さは、先の誠実さにまさっています。あなたは、貧しい者でも富んだ者でも、若い男の後は追いかけてませんでした。

祝福する=バラク◀ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)

4:12 どうか、【主】がこの娘を通してあなたに授ける子孫によって、タマルがユダに産んだペレツの家のように、あなたの家になりますように。」

ユダに=(ליהודה) リ・フダー。 ユダ (の為) に
タマルがユダに好意を与えた。

ルツ 4:13 ボアズはルツを迎え、彼女は彼の妻となった。ボアズは彼女のところに入り、【主】はルツを身ごもらせ、彼女は男の子を産んだ。

過去にも夫はいたが、正しい人 (ボアズ) と交わるまで実 (子孫) は出来なかった

4:14 女たちはナオミに言った。「【主】がほめたたえられますように。主は、今日あなたに、買い戻しの権利のある者が途絶えないようにされました。その子の名がイスラエルで打ち立てられますように。

ほめたたえられますように＝バラク・ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる、ひざまづく▶
(NAS) (KJV) (INT) blessed (改 4)ほめたたえ

4:15 その子はあなたを元気づけ、老後のあなたを養うでしょう。あなたを愛するあなたの嫁、七人の息子にもまさる嫁が、その子を産んだのですから。」

養うでしょう＝◀ 3557. kul 37 回▶ 理解する、含む、養う(聖書の中の多くの個所で)、

容量は～である。

第 1 列王 7:26 「海」の厚さは一手幅あり、その縁は杯の縁のように、ゆりの花の形をしていた。その容量は二千バテであった。

4:16 ナオミはその子を取り、胸に抱いて、養い育てた。

養い育てた＝◀ 539. aman 108 回▶ 信じる、確かにする、(ヘブライ語で信じるを意味する一般的な言葉)

確かな(1サム 2:35)(詩 89:28)、堅く建てる(1サム 3:20)(2サム 7:16)(1王 8:26)

ほんとうだということがわかる(Ge42:20)

忠実な(民 12:7)、長く続く(申 28:59)、

養い育てる(ルツ 4:16)、養育する(エステル 2:7)

乳母(nurse 名詞)の語源(2サム 4:4)、わきに抱かれて(イザヤ 60:4)

おぼつく(申 28:66)、当てにする(エレ 15:18)

この言葉を「乳を与えた＝超自然的に乳がでた」という解釈をユダヤ人がしていたが根拠はないだろう。